

シンポジウム(口頭講演) | シンポジウム：ナノテクノロジーを駆使したバイオセンサーと2次元材料の最前線 - ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェンFETセンサーによるパンデミックのない社会の実現 -

📅 2025年3月14日(金) 13:30 ~ 17:15 📍 K205 (講義棟)

[14p-K205-1~10] ナノテクノロジーを駆使したバイオセンサーと2次元材料の最前線 -ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェンFETセンサーによるパンデミックのない社会の実現-

松本 和彦(阪大)、 牛場 翔太(村田製作所)

13:30 ~ 13:35

[14p-K205-1] 趣旨説明

○松本 和彦¹ (1.阪大産研)

キーワード：バイオセンシング、2次元材料

本シンポジウムの趣旨を述べる。様々なウイルスやバイオマーカー、生体信号を簡便に高感度に検出し、健康維持や社会の安定に寄与することは世の中の喫緊の課題である。最新のエレクトロニクスとナノテクノロジーを駆使した様々なバイオセンシング法と材料である2次元材料の最新情報を提示する。またこれらの中で、社会実装に近いものは何かを問うシンポジウムを企画する。